



## 『地域包括ケアシステム』とは、なんですか？

心身が不調になっても、いままで住んでいた地域で、“その人らしく暮らしていける”ように地域のみなんで支えていこうという“仕組み”です。

介護、医療、福祉、保健が連携して、地域住民の協力の下、家族の参加、更には、本人の努力を促すというものです。高齢化に備え、国が地域包括ケアシステムを推進しています。

7月17日、視察に来られた、三重県の南伊勢町の皆様から、地域包括ケアシステムにおける病院の役割はなにか？というご質問がありましたので、少し整理してみました。

まず、入院、外来診療、救急、訪問診療が思い浮かびます。

「いままで住んでいた地域で、“その人らしく暮らしていける”ように、支えていく」という視点から、病院の役割を、その前後の文脈でとらえると、

- ① 病気にならない取り組み、
- ② 早めの手当て、
- ③ 病気や障害と上手に付き合い、現状を維持すること
- ④ 在宅ないし施設での療養の支援、
- ⑤ 終末期の対応、であります。



そのために、私たちが意識して取り組まねばならないことは、

- ① 予防活動への取り組み、
- ② 健診、検診への取り組み、
- ③ 初期診療の充実、
- ④ 病気でなく人を診る、人だけでなく、家族、住まい、地域を診る姿勢、
- ⑤ 予防に関する教育、指導、実践、
- ⑥ 必要なときの入院対応、
- ⑦ 介護職等との連携、情報の共有、退院の支援、
- ⑧ 緩和等、終末期の診療および看取り、
- ⑨ 問題点に対する改善活動、などあります。



地域包括ケアシステムにおける病院の役割は、大変重要であります。

この機会に、今一度、地域包括ケアシステムを行っているという、私たち自身の立ち位置を確認し、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

院長 関口 哲夫



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話(代表) 0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉 「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。



## < 町立病院ボランティアのご紹介 >



町立病院ボランティアの活動は、患者さんが気持ちよく受診や療養を行うことができ、病院で過ごす時間に安らぎを感じていただくことを目的として平成17年度から開始いたしました。

ボランティアの皆さんは、医療の専門職からは見えないさまざまな疑問や問題点が見える、また、限られた医療空間に日常生活の空気を運んでいただける存在として、病院にとって欠かせない役割を担っていただいています。(薄い緑色のエプロンを着用して活動しています。)

ボランティア活動は、主に外来と療養病棟で行われています。外来では、患者さんのご案内や待ち時間の長い方へのお声かけ、診察終了後のカルテの回収など、療養病棟では入院中の患者さんへの車椅子による散歩の介助や話し相手です。

また、必要時、ボランティア会議を開き、活動の調整や研修会などを行っています。

現在は町立病院ボランティアとして30名の方にご登録いただいております。



※ 町立病院では、病院ボランティアとして継続的、また定期的にご協力いただける方を随時募集しております。

病院ボランティアに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

地域医療連携室 加藤・横田 (Tel 75-2332)

☆ ☆ 明るい生活は健康管理から ☆ ☆

## 年に一度は「人間ドック」を受けましょう



① 健診日 **火～金 曜日** 〈受付〉AM 7:40～ (ただし、祝日・年末年始はお休みです。)

※ 検査は午前中で終わり、希望者には医師による結果説明を行います。  
(結果説明 火・水・木曜日はPM 1:30～、金曜日はPM 2:00～)

② 費用 **38,850円** (税込み、入浴券と食事券付き)

※ 腫瘍マーカー等のオプションは、別途費用が必要です。

※ 各保険者によって、補助制度がある場合がありますので加入している保険者へお問い合わせください。

(たとえば 小鹿野町国保の場合 25,000円補助 〈要予約〉)

「入浴券」と「食事券」は、下記施設でご利用いただけます。

- ・国民宿舎 両神荘
- ・両神温泉 薬師の湯(火曜休館)
- ・西秩父料飲店組合の飲食店(食事のみ)

③ 予約方法 お電話で、1週間前までにご予約ください。(定員がありますので、ご予約はお早めにどうぞ。)

※ご予約・お問合せ先：総合健診センター (直通電話) 0494-72-7510

